

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

栃木県那須塩原市

2 構造改革特別区域の名称

なすしおばらワイン特区

3 構造改革特別区域の範囲

栃木県那須塩原市の全域

4 構造改革特別区域の特性

(1) 位置

那須塩原市（以下「本市」という。）は、栃木県の北部に位置し、東京都まで 150 km 圏内、宇都宮市までは約 50 km の距離にあって、地形的には山岳部が市の約 1/2 を占め、残りは平坦地で那須野が原の北西一帯を占めている。

市の面積は、592.74 ㎢と広範で、西部に高原山、北部に大佐飛山や那須連山の最高峰三本槍岳などの山岳部がある。

面積の半分を占める山岳部は、日光国立公園を形成し、塩原温泉郷と板室温泉、三斗小屋温泉の温泉地をはじめ、箒川沿いの四季折々に彩を見せる塩原溪谷や沼ッ原湿原を代表とした観光の名所を有するなど、多くの観光資源に恵まれている。残りの半分は、北側を那珂川、南側を箒川に挟まれた緩やかな傾斜の扇状地で、扇中央部には本州有数の酪農地帯、扇端部には田園地帯が広がっている。

交通基盤としては、広域交通拠点となるＪＲ東北新幹線、ＪＲ東北本線の鉄道路線や東北縦貫自動車道、一般国道４号などの国土軸を形成する幹線交通が市を縦貫しており、交通アクセスに恵まれた地域特性を有している。

(2) 気候

本市は高原性の冷涼な気候であると言われているが、令和元（2019）年の最高気温は８月に 34.3℃を記録した。一方、最低気温は１月に-8.2℃が記録され、年間の平均気温は 12.7℃で、夏季と冬季の寒暖差は 42.5℃となった。降水は夏季に多く、冬季には少ないため、近年の年間降水量はおおむね 1,200 mm～1,900 mmで推移している。また、冬季には山地を中心に積雪があり、４月下旬でも一部の地域には残雪がみられる。

(3) 人口

栃木県毎月人口調査報告書に基づく令和元（2019）年 10 月 1 日現在の本市の人口は 116,043 人である。これは県内で５番目の人口であり、県北地域では最も多い人口となっている。本市全体の人口は、平成 22（2010）年に 117,812 人となってピークを迎え、その後はそれまでの増加傾向から減少傾向に転じている。

(4) 産業

本市には、多彩な産業が立地しているが、特に農業と観光業が基幹産業となっている。

農業では、「生乳生産本州一のまち」としての地位を築いている酪農を始め、ほうれんそう・大根などの高原野菜や食味ランキングで「特A」の評価を受けている銘柄もある水稻、夏から秋にかけて収穫される夏秋どりいちごなど、特色ある作物が生産されている。

観光では、明治・大正時代に多くの文人が訪れ、1,200年以上の歴史がある塩原温泉郷や、「下野の薬湯」と言われ、深い山間にたたずみ自然あふれる素朴な湯治の郷として親しまれている板室温泉を始め、那須野が原開拓に関わった明治の元勲の歴史的遺産や特色ある3つの「道の駅」などがあり、多くの観光客が訪れている。

本市を訪れる観光客入込数は、栃木県全体の9.5%（8,811,708人：2019年実績）の占有率であり、宇都宮市、日光市に次いで3番目となっている。また宿泊客数は、県全体の11.1%（915,923人：2019年実績）の占有率であり、日光市、那須町、宇都宮市に次いで4番目となっている。

(5) 規制の特例措置を講じる必要性

本市の平地部は、日本最大規模の扇状地「那須野が原」に位置しており、土砂や火山岩が厚く堆積し、中央を縦断する蛇尾（さび）川、熊川は、水が地下に浸透してしまい、水の無い川となっている。このためこの地は、水に乏しく、明治の初めまでは人の住めない不毛の原野であったが、新たな国家の建設への情熱と、この土地への深い愛着を持つ華族たちが農場を開設し、大規模な開拓が進められた。これに端を発し、先人たちが努力を積み重ねてきた結果、今では農業は本市の基幹産業であり、特に稲作、酪農（乳牛）が盛んで、生乳生産量は本州1位を誇っている。

また、開拓の歴史の中で、ぶどう栽培の着手も早く、開拓地における西洋文化導入の実践場として、明治半ばには既にワインの醸造が行われ、農場主たちの食卓を彩ってきた。

しかしながら、人口減少・少子高齢化が進む中、本市の基幹産業である農業においても、従事者の高齢化や後継者、担い手の不足が深刻化しており、残念ながら現在は、現存する日本で最も古いワイナリーのひとつである単一の事業者が市産ワインを造り続けているのみの状況となっている。

近年、ワイン用のぶどうを栽培し、将来的には生産から醸造、販売までを行いたいとする新規就農者が現れているが、生産量が少量のため、現在は市外のワイナリーにぶどうを販売するか、委託醸造するのみとなっている。自己醸造を可能とすることにより、明治華族の開拓の歴史が息づく那須塩原市産のぶどうを用いた市産ワインとしての付加価値が付き、従来のワイン用ぶどうの生産・販売のみの場合よりも高い販売高が期待できる。

さらに、市内ではりんごを作付けしている農業者が多く、よりよいりんごを供給すべく「那須高原りんご研究会」を組織し、日々生産研究を実施している。現在は直売所や産直所等にて販売しているが、形の悪いりんご等はジュース等に加工して販売しているのみである。これも併せてワインにすることにより、新たなブランドとして付加価値を

つけることができる。

本市としては、これら新規就農者や農業者の取り組みを後押しし、継続して安定的に営農していけるようサポートしていくことで、就農や営農のモデルケースとして、新たなブランドづくり、新たな農業経営の選択肢を示し、新規就農者の確保と、新規参入の促進を図っていく必要がある。

そのためには、構造改革特別区域計画の認定を取得することにより、小規模な施設でのワインの製造、販売が可能となるような環境を整備する必要がある。

5 構造改革特別区域計画の意義

(1) 担い手の確保

本市は、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの問題を抱えているが、本特例措置により、小規模な施設でもワイン醸造を可能とすることで、参入のハードルが下がり、新規に参入を促すことができ、新規就農者の確保につながることを期待できる。

(2) 観光の振興

本市では、本市が有する塩原温泉と板室温泉等の温泉と、この土地ならではの食文化を楽しみ、自然や歴史・文化を知る旅をしてもらう「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」を展開している。このONSEN・ガストロノミーツーリズムにおいて、

- ・観光客や市民に、果樹園（ぶどう畑、りんご畑）及びワイナリーの見学、成り立ち取組等の紹介
- ・市産ワインの試飲、提供
- ・背後に那須連山を望みつつ、那須野が原の開拓に尽力した明治期の先人の歴史、浪漫、晴れた日の那須連山の眺望の解説等を行うことで、那須野が原の開拓の歴史と食を体感し、地域への理解を深めていただくことにより、旅行観光需要を喚起し、交流人口の拡大を図るとともに、これによって生産、醸造、販売、消費という6次産業化のサイクルを確立するとともに、地産地消のモデルとし、観光と農業との連携による地域経済の活性化を図ることができる。

(3) 地産地消及び6次産業化の推進

市産ワインの提供により地産地消を確立し、6次産業化を推進することで、所得向上による安定的な農業経営の実現を図ることができる。また、地元産の安全・安心なワインを地域住民及び観光客に提供することができる。

(4) 市産農産物のブランド力の向上

製造数量の規制緩和により、小ロット生産ゆえの希少性と高品質性を持たせることにつながり、市産ワインのブランド化、差別化を図ることが可能になる。市産農産物の魅力を市内外に発信し、消費者の認知度を高めることでブランド力を強化し、消費拡大につなげる。

（５）地方創生の推進

「新規就農者の支援」、「農業の６次産業化の推進」及び「ONSEN・ガストロノミー・ツーリズムを通じた魅力ある観光地づくりの推進」の取組は、那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成２７年３月策定、令和２年３月時点修正）の重点施策として位置づけており、本市の地方創生の推進に資する。

６ 構造改革特別区域計画の目標

新型コロナウイルス感染症を経験し、市民ニーズは「生命・健康の維持」「安心・安全の確保」といった観点が最も重要視されるようになった。

このため、本市では市民が「ここに住んでいれば安心」、「ここに住んでいれば生き延びられる」と実感できるような「持続可能なまち那須塩原市」の構築をめざしている。

特区の活用は、多様な担い手によるワインの製造が可能となり、安心・安全な市内産ワインを生産提供することができるといった本市が目指す、「安心・安全で持続可能な活力のある農業」を目指すために非常に有効な方法であると考えている。

また、本市は本州一の生乳生産量を誇っており、近年では生乳生産に付随してチーズなどの乳製品を製造販売する工房等が現れており、乳製品の品質向上に取り組んでいる「那須ナチュラルチーズ研究会」を組織し、工房の中には世界コンテストで入賞するなど、優れたチーズを生産している。

高原野菜をはじめとする野菜の生産も盛んで、これらを組み合わせて、本市では「メイドイン那須のチーズフォンデュ」として提供しており、本州一の生乳生産量を誇るミルクタウンとしてのブランドの確立を目指している。

そこに、メイドイン那須塩原の果実（ぶどう、りんご）を利用した、地元のワインが加わることで、チーズからワインまで、一貫して市産の食材による晚餐を提供することなどを通じて、市産農産物の利用拡大と地域活性化を実現することができる。

さらに、それらの地元産の食と市内の風光明媚な自然や温泉などの豊かな観光資源とを連携させ、他の地域にない魅力ある観光づくりを推進することが市の魅力を高めていくこととなり、類似する自治体との差別化を図ることができる。

７ 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

（１）交流人口拡大による地域経済活性化

現在本市では、地産地消をモットーに新たに始まったONSEN・ガストロノミー・ツーリズムに力を入れているところであり、今後、ぶどうやりんごの収穫体験や市産ワイン提供を実施し、参加する観光客等に那須野が原の開拓の食を体感してもらい、地域への理解を深めてもらうこととしている。

また、地元のボランティアを募りぶどう栽培を体験してもらうことでワインにも興味を持ってもらい、人が集まり地元にも愛されるワイナリーづくりを実施し、地域理解を促進する。

あわせてワイナリーにおいては、ワインに合う地元の食材及びその生産者の紹介、そして料理のレシピ等の情報を集め、そこを訪れた観光客や市民に本市の食文化を知ってもらう。

ワインは、人を呼ぶコンテンツとして大変魅力的なものである。本市は観光が盛んなうえ、チーズをはじめとしたワインに合う食材に富むまちである。

これに地元産の希少性の高い高品質ワインという新たなコンテンツが加わることで、さらなる旅行観光需要を喚起し、地域経済の活性化を図ることができる。

また、ぶどうやりんごの生産からワイン醸造、販売、消費までの一貫したサイクルを市内で完結することが可能となり、地域経済の活性化につながる。

(2) 新規就農者（ワイン製造事業者数）の確保

本市の基幹産業の一つである農業を維持発展させるためには、「稼げる農業」を実現するとともに、新たな担い手として農業者を育成・確保する必要がある、そのためにも市内における販路を確保することが重要となっている。

そのため、特区の認定により、ぶどうやりんごの生産からワインの醸造、販売までの成功事例をつくることで、新規参入者を促し、新たな担い手となる次の生産者の確保につながっていくことが期待でき、本市の持続可能な農業の発展に資するものである。

【特産酒類の生産に関する数値目標】

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降	備考
ワインの醸造施設	0箇所	1箇所	1箇所	原料：ぶどう りんご
ワインの醸造量		2キロリットル	4キロリットル	
ワインの醸造につ かう作目の生産量		ぶどう 2.5 t りんご 0.8 t	ぶどう 5.0 t りんご 1.0 t	

8 特定事業の名称

709（710、711）特定酒類の製造事業

(別紙)

1 特定事業の名称

709 (710、711) 特産酒類の製造事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

構造改革特別区域内において生産された地域の特産物として指定された農産物（ぶどう、りんご又はこれらに準ずるものとして財務省令で定めるものに限る。）を原料とした果実酒を製造しようとする者

3 当該規制の特例措置の適用の開始日

本構造改革特別区域計画の認定を受けた日

4 特定事業の内容

(1) 事業に関与する主体

上記2に記載した者で、酒類製造免許を受けた者

(2) 事業が行われる区域

栃木県那須塩原市の全域

(3) 事業の実施機関

上記2に記載した者が、酒類製造免許を受けた日以降

(4) 事業により実現される行為や整備される施設

上記2に記載した者が、構造改革特別区域内において、地域の特産物として指定された果実（ぶどう、りんご又はこれらに準ずるものとして財務省令で定めるものに限る）を原料とした果実酒の提供・販売を通じて地域の活性化を図るために果実酒を製造する。

5 当該規制の特例措置の内容

当該規制の特例措置により、構造改革特別区域内において、本市が地域の特産物として指定した果実（ぶどう、りんご又はこれらに準ずるものとして財務省令で定めるものに限る。）を原料とした果実酒を製造しようとする場合には、酒類製造免許に係る 6 キロリットルの最低製造数量基準が 2 キロリットルに引き下げられ、より小規模な主体も酒類製造免許を受けることが可能となる。

これにより、農業の担い手の確保、地産地消の推進とともに市産農産物のイメージの向上及び観光振興が図られ、地域活性化にも効果が見込まれる。

なお、当該特定事業により酒類の製造免許を受けた場合も、酒税法の規定に基づき、酒税の納税義務者として必要な申告納税や各種記帳義務が発生するとともに、税務当局の検査や調査の対象とされる。

本市は無免許製造を防止するために制度内容の広報・周知を行うとともに、特産酒類の製造免許を受けた者が酒税法の規定に違反しないよう、指導及び支援を行う。